

へいせい かいだより

社会福祉法人 平成会

住所 東広島市高屋町小谷 5001-5

TEL : (082) 434-0405

FAX : (082) 434-5599

Mail : heiseikai@nishinoike.or.jp

編集 (社福) 平成会 広報部

発行者 (社福) 平成会理事長 赤坂 秀則



第95号 (令和3年 1月 1日)

あおぞらぱん屋さん

AOZORA BAKERY

管理栄養士が栄養バランスを考えた
日替わり弁当

1食 ¥500《税込》

火、水、木、金曜日の

11時から販売しております。



あおぞらぱん屋さんが作った
「いちじくジャム」
添加物は使用しておりません。
1個 500円《税込》

「親子でバランスボール体操」の様子
宮領ワークセンターにて



放課後等デイサービス 夕風

ここが夕風です！

昨年の夏、「夕風ってどこ？」と聞かれたことがありました。道路から見ると確かに何の建物か分かりません。このことがきっかけで看板を作ることになりました。

「放課後等デイサービス夕風」の看板は、すべて子ども達の手作りです。

小学校1年生の小さな手、高校生の大きな手で色を塗り、ハサミで切り、一つひとつ貼り、1年という期間をかけて完成しました。振り返って見ていただいている方も多いのではないのでしょうか？

地域の方に知って欲しい、車を運転する方にも「ここに子どもがいます」と気づいて欲しいとの思いもありました。

子ども達は出来た看板をキラッキラの目で見つめていました。嬉しい瞬間です。この笑顔を大切にして、これからも夕風のことを発信し続けていきます。

近くを通られる際には、是非、ご覧下さい。



保育士 平石 麗華

ソーシャルディスタンスの今こそ、繋がる小谷の和



「果ごもりぞ 野まるへんさり ニヤンとし」

今年、長引く新型コロナウイルスの影響を受け、感染拡大防止の為「小谷秋の大収穫祭」を中止し、代替え行事として「秋祭祭（しゅわかきさい）」を実施いたしました。

あおぞらぱん屋さん白市店にて、「コロナ禍で制限のある生活の中でもクスツと笑える様な川柳」「疫病退散のアマビエの塗り絵」を募集したところ、たくさん作品を頂きました。どの作品も素晴らしい、心む作品ばかりです。

また、小谷地域の方に応援メッセージとして、あおぞらぱん屋さん白市店北側（線路側）に横断幕を設置しました。

メッセージは「ソーシャルディスタンスの今こそ、繋がる小谷の和」です。

コロナ禍の中でこそ、これまで大事にしてきたお隣、近所、地区、地域との関係を閉ざすことなく、互いに助け合いながら乗り切っていきたいという気持ちを込めています。

私たち平成会も地域の一員として今後も繋がりが続け、一助となる存在でありたいと思います。

秋祭祭 実行委員会
事務局 松井 茂雄

地域と共に

令和三年の新春を迎え、謹んで年頭のご挨拶を申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が流行し、とても悲痛な思いをした一年であったように思います。一日も早く終息することを願うばかりです。

さて、昨年二月に宮領ワークセンター二階に開設しました「あおぞら保育園」ですが、早いものでもうすぐ一年を迎えようとしています。従業員の皆様三名からのスタートでしたが、お陰様で現在は、地域の方の利用も含め、ほぼ定員を満了状況になっております。

一時預かりの利用も増え、地域の方にも少しずつ認知していただけるようになってきていることを、とても嬉しく思っております。

現在、宮領地区の事業所群「アベニール」では、地域の皆さんを対象とした様々なイベントを企画しています。

あおぞらぱん屋さんによる「パン作り体験」、講師をお招きしての「親子でバランスボール体操」や、理学療法士が指導する「いきいき健康体操」などです。

参加された方からは「子供が緊張せずに伸び伸びと楽しんでいた」「大満足。また参加したい」など嬉しい声をいただきました。

今後も宮領アベニールが地域の方に必要とされ、小さなお子様・障害のある方・高齢者にとって住みやすい場となるよう、地域共生社会を目指して努力して参ります。

これからもどうぞよろしくお願いたします。

あおぞら保育園
園長 貞重 文代

秋祭祭（しゅわかきさい）